

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月9日
【四半期会計期間】	第7期第2四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	株式会社C & Gシステムズ
【英訳名】	C&G SYSTEMS INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 塩田 聖一
【本店の所在の場所】	東京都品川区東品川二丁目2番24号
【電話番号】	03(6864)0777
【事務連絡者氏名】	取締役管理統括部部长 大野 聡太郎
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区東品川二丁目2番24号
【電話番号】	03(6864)0777
【事務連絡者氏名】	取締役管理統括部部长 大野 聡太郎
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第6期 第2四半期連結 累計期間	第7期 第2四半期連結 累計期間	第6期
会計期間	自平成24年1月1日 至平成24年6月30日	自平成25年1月1日 至平成25年6月30日	自平成24年1月1日 至平成24年12月31日
売上高 (千円)	1,766,398	1,757,630	3,387,399
経常利益 (千円)	166,903	189,094	194,502
四半期(当期)純利益 (千円)	149,521	131,645	140,795
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	168,677	169,990	194,019
純資産額 (千円)	2,204,561	2,308,465	2,213,655
総資産額 (千円)	4,125,196	3,872,700	3,692,162
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	13.54	11.92	12.75
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	52.5	58.7	59.0
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	155,280	234,836	245,167
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	891,104	265,018	366,553
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	70,142	133,725	449,165
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	966,057	1,600,848	1,213,365

回次	第6期 第2四半期連結 会計期間	第7期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	5.98	5.29

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 第6期、第6期第2四半期連結累計期間および第7期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社および当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社に異動はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たなリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年12月の政権交代以降の金融緩和策による株価の上昇および円安の進行が継続、一部の輸出企業の業績が改善し、景気回復への期待感が高まる一方、電気料金や物価の上昇による個人消費への影響が懸念されております。また海外経済においては、米国経済が回復を見せているものの、中国の景気減速および欧州債務危機の長期化等、景気の下振れリスクがあることから、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

当社グループの主要顧客である金型関連業においては、設備投資の先行指標となる工作機械受注統計（日本工作機械工業会）によれば、4～6月の工作機械受注のうち金型向けは対前年比で微減にとどまっておりますが、4～5月の国内金型生産額累計（経済産業省「機械統計」）については、対前年比で約0.5割減少いたしました。

このような状況の下、当社グループは、旧システムおよび他社製品からの当社製品最新版への置き換えを進めたほか、「INTERMOLD2013（第24回金型加工技術展）」に出展し、当社製品で実現する付加価値の高い加工技術や金型設計作業の効率化を提案いたしました。また研究開発においては、金型用3次元CAMシステム「CAM-TOOL」の最新バージョン「Version9.1」では大物加工に効果を発揮する機能を付加、またモールド金型専用CADシステム「CG MoldDesign」最新バージョン「Ver2013」は全面リニューアルを実施し、当社比で40%の設計工数削減を図るなど、製品の改善を進めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高17億57百万円（前年同四半期比0.5%減）、営業利益1億56百万円（前年同四半期比6.5%増）、経常利益は1億89百万円（前年同四半期比13.3%増）、四半期純利益は1億31百万円（前年同四半期比12.0%減）となりました。

事業セグメント別の業績は以下の通りです。

（CAD/CAMシステム等事業）

CAD/CAMシステム等事業においては、西日本地区およびタイでの大型案件獲得、粗利益率の高い商品の販売増、CAD/CAM製品の最新バージョンへの移行が順調に進んだことなどから、売上・利益共に大きく伸びました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるCAD/CAMシステム等事業の売上高は15億51百万円（前年同四半期比9.0%増）、セグメント利益は1億41百万円（前年同四半期比56.4%増）となりました。

（金型製造事業）

北米で展開している金型製造事業は、第1四半期に続き、好調であった前年度と比較すると減収減益ではありますが、米国の製造業が活発化する中、継続的に売上を確保してまいりました。また、次期以降の受注増に向け、休眠顧客を含めた顧客訪問を積極的に行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における金型製造事業の売上高は2億6百万円（前年同四半期比39.8%減）、セグメント利益は15百万円（前年同四半期比73.4%減）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1億80百万円増加し、38億72百万円となりました。主な増加要因は現金及び預金3億84百万円、受取手形及び売掛金1億11百万円、主な減少要因は投資有価証券3億36百万円であります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して85百万円増加し、15億64百万円となりました。主な増加要因は買掛金41百万円、前受金34百万円および退職給付引当金28百万円、主な減少要因は短期借入金43百万円であります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して94百万円増加し、23億8百万円となりました。主な増加要因は四半期純利益の計上による利益剰余金の増加1億31百万円および為替換算調整勘定19百万円、主な減少要因は配当金の支払いによる利益剰余金の減少55百万円であります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」）は、前第2四半期連結累計期間末と比較して6億34百万円増加し、16億0百万円となりました。なお、前連結会計年度末と比較して3億87百万円増加しております。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金は2億34百万円の増加（前年同四半期連結累計期間は1億55百万円の増加）となり、前年同四半期連結累計期間と比較して79百万円の増加となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益1億90百万円（前年同四半期連結累計期間は1億91百万円）および減価償却費60百万円（前年同四半期連結累計期間は61百万円）によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金は2億65百万円の増加（前年同四半期連結累計期間は8億91百万円の減少）となり、前年同四半期連結累計期間と比較して11億56百万円の増加となりました。

主な要因は、投資有価証券の売却による収入3億35百万円（前年同四半期連結累計期間は投資有価証券の売却による収入1億17百万円、投資有価証券の取得による支出9億24百万円）、無形固定資産の取得による支出25百万円（前年同四半期連結累計期間は24百万円の支出）および保険積立金の増加による支出36百万円（前年同四半期連結累計期間は35百万円の支出）によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金は1億33百万円の減少（前年同四半期連結累計期間は70百万円の減少）となり、前年同四半期連結累計期間と比較して63百万円の減少となりました。

主な要因は、長期借入金の返済による支出55百万円（前年同四半期連結累計期間は55百万円の支出）および配当金の支払いによる支出74百万円（前年同四半期連結累計期間は10百万円の支出）によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上および財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は2億27百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,000,000
計	48,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	11,982,579	11,982,579	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	11,982,579	11,982,579	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	11,982,579	-	500,000	-	125,000

(6)【大株主の状況】

平成25年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社アーク	大阪府大阪市中央区南本町2丁目2-9	4,853	40.5
株式会社エムワイ企画	福岡県北九州市若松区高須東4丁目13-1	1,622	13.5
山口修司	福岡県北九州市若松区	593	5.0
C & Gシステムズ従業員持株会	東京都品川区東品川2丁目2-24	474	4.0
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6-6	459	3.8
大阪証券金融株式会社	大阪府大阪市中央区北浜2丁目4-6	188	1.6
株式会社SBI証券	東京都港区六本木1丁目6-1	126	1.1
株式会社西日本シティ銀行	福岡県福岡市博多区博多駅前3丁目1-1	99	0.8
株式会社兼松ケージーケイ	東京都練馬区桜台1丁目1-6	99	0.8
松井証券株式会社	東京都千代田区麹町1丁目4	92	0.8
計	-	8,609	71.9

(注) 上記の他、当社は937,160株の自己株式を保有しております。なお、発行済株式数に対する自己株式の保有割合は7.8%であります。



(7) 【議決権の状況】  
【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 937,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,043,700	110,437	-
単元未満株式	普通株式 1,779	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	11,982,579	-	-
総株主の議決権	-	110,437	-

(注) 単元未満株式数には当社所有の自己株式60株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数 の合計(株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社 C & G システムズ	東京都品川区東品川 2丁目2-24	937,100	-	937,100	7.8
計	-	937,100	-	937,100	7.8

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,252,365	1,636,848
受取手形及び売掛金	<sup>1</sup> 501,081	<sup>1</sup> 612,787
たな卸資産	<sup>2</sup> 52,697	<sup>2</sup> 45,526
その他	152,295	156,616
貸倒引当金	2,000	5,198
流動資産合計	1,956,439	2,446,579
固定資産		
有形固定資産	272,122	281,529
無形固定資産	31,554	23,950
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	454,962	449,046
その他	1,014,712	710,925
貸倒引当金	37,629	39,331
投資その他の資産合計	1,432,045	1,120,641
固定資産合計	1,735,722	1,426,121
資産合計	3,692,162	3,872,700
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	49,915	91,221
短期借入金	110,040	66,500
未払法人税等	23,623	31,925
前受金	493,676	528,646
その他	149,548	161,519
流動負債合計	826,804	879,812
固定負債		
長期借入金	11,480	-
退職給付引当金	463,400	491,429
役員退職慰労引当金	93,195	97,770
債務保証損失引当金	4,629	1,851
その他	78,996	93,370
固定負債合計	651,701	684,422
負債合計	1,478,506	1,564,235

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	546,464	546,464
利益剰余金	1,354,261	1,430,679
自己株式	208,954	208,968
株主資本合計	2,191,771	2,268,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	129	465
為替換算調整勘定	15,044	4,040
その他の包括利益累計額合計	14,914	4,505
少数株主持分	36,799	35,784
純資産合計	2,213,655	2,308,465
負債純資産合計	3,692,162	3,872,700

( 2 ) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【 四半期連結損益計算書】

【 第 2 四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 1月 1日 至 平成24年 6月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 1月 1日 至 平成25年 6月30日)
売上高	1,766,398	1,757,630
売上原価	671,930	630,949
売上総利益	1,094,467	1,126,680
販売費及び一般管理費	947,543	970,261
営業利益	146,924	156,418
営業外収益		
受取利息	10,434	4,415
受取配当金	992	130
不動産賃貸料	41,071	41,192
債務保証損失引当金戻入額	2,777	2,777
その他	5,403	22,103
営業外収益合計	60,679	70,619
営業外費用		
支払利息	3,636	1,011
不動産賃貸費用	37,064	36,932
営業外費用合計	40,700	37,944
経常利益	166,903	189,094
特別利益		
固定資産売却益	315	1,388
投資有価証券売却益	24,850	414
リース解約益	-	308
固定資産受贈益	-	74
特別利益合計	25,165	2,185
特別損失		
固定資産除却損	-	5
投資有価証券売却損	-	458
リース解約損	1,055	-
特別損失合計	1,055	463
税金等調整前四半期純利益	191,013	190,815
法人税、住民税及び事業税	20,790	42,066
法人税等調整額	2,157	4,832
法人税等合計	18,632	46,899
少数株主損益調整前四半期純利益	172,381	143,915
少数株主利益	22,859	12,270
四半期純利益	149,521	131,645

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	172,381	143,915
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,470	335
為替換算調整勘定	2,766	25,738
その他の包括利益合計	3,703	26,074
四半期包括利益	168,677	169,990
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	144,576	151,065
少数株主に係る四半期包括利益	24,100	18,924

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	191,013	190,815
減価償却費	61,374	60,921
貸倒引当金の増減額(は減少)	845	4,899
退職給付引当金の増減額(は減少)	17,663	27,896
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	4,262	4,575
債務保証損失引当金の増減額(は減少)	2,777	2,777
受取利息及び受取配当金	11,427	4,546
支払利息	3,636	1,011
受取賃貸料	41,071	41,192
投資有価証券売却及び評価損益(は益)	-	44
その他の営業外損益(は益)	30,616	30,943
固定資産除売却損益(は益)	315	1,382
固定資産受贈益	-	74
リース解約益	-	308
リース解約損	1,055	-
売上債権の増減額(は増加)	223,635	105,474
たな卸資産の増減額(は増加)	16,676	13,069
仕入債務の増減額(は減少)	27,238	36,520
前受金の増減額(は減少)	55,819	33,421
未払金の増減額(は減少)	21,380	8,462
その他	58,824	13,041
小計	168,419	252,941
利息及び配当金の受取額	7,733	6,999
利息の支払額	3,583	958
賃貸料の受取額	41,071	41,192
法人税等の支払額	27,743	34,357
その他	30,616	30,980
営業活動によるキャッシュ・フロー	155,280	234,836
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	14,500	12,000
定期預金の払戻による収入	15,000	15,000
有形固定資産の取得による支出	8,236	19,777
有形固定資産の売却による収入	634	1,388
無形固定資産の取得による支出	24,178	25,856
資産除去債務の履行による支出	-	2,700
投資有価証券の取得による支出	924,183	-
投資有価証券の売却による収入	117,750	335,778
長期貸付金の回収による収入	240	400
敷金及び保証金の差入による支出	19,655	1,478
敷金及び保証金の回収による収入	1,408	11,183
預り保証金の受入による収入	500	-
保険積立金の積立による支出	35,838	36,917
その他	44	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	891,104	265,018

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 1月 1 日 至 平成24年 6月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 1月 1 日 至 平成25年 6月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	55,020	55,020
ファイナンス・リース債務の返済による支出	4,688	3,845
自己株式の取得による支出	-	13
配当金の支払額	263	54,906
少数株主への配当金の支払額	10,170	19,939
財務活動によるキャッシュ・フロー	70,142	133,725
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,897	21,352
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	803,068	387,482
現金及び現金同等物の期首残高	1,769,125	1,213,365
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 966,057	1 1,600,848



【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 当第2四半期連結会計期間末日満期手形は手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当第2四半期連結会計期間の末日は金融機関の休日のため、次のとおり当第2四半期連結会計期間末日満期手形が当第2四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	10,916千円	17,950千円

2 たな卸資産の内訳

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
商品及び製品	31,010千円	22,467千円
仕掛品	19,851	21,553
原材料及び貯蔵品	1,834	1,505

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
給与手当	265,130千円	262,098千円
役員退職慰労引当金繰入額	4,262	4,575
退職給付費用	15,377	20,642
貸倒引当金繰入額	2,251	4,899
研究開発費	225,612	227,867

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
現金及び預金	1,008,057千円	1,636,848千円
預入期間が3か月超の定期預金	42,000	36,000
現金及び現金同等物	966,057	1,600,848

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年2月22日取締役会	普通株式	55,227千円	5円	平成24年12月31日	平成25年3月12日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	CAD/CAM システム等事業	金型製造事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,423,385	343,012	1,766,398	-	1,766,398
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,423,385	343,012	1,766,398	-	1,766,398
セグメント利益	90,422	56,502	146,924	-	146,924

当第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	CAD/CAM システム等事業	金型製造事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,551,156	206,473	1,757,630	-	1,757,630
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,551,156	206,473	1,757,630	-	1,757,630
セグメント利益	141,385	15,033	156,418	-	156,418

( 1 株当たり情報 )

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 ( 自 平成24年 1 月 1 日 至 平成24年 6 月30日 )	当第 2 四半期連結累計期間 ( 自 平成25年 1 月 1 日 至 平成25年 6 月30日 )
1 株当たり四半期純利益金額	13円54銭	11円92銭
( 算定上の基礎 )		
四半期純利益金額 ( 千円 )	149,521	131,645
普通株主に帰属しない金額 ( 千円 )	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 ( 千円 )	149,521	131,645
普通株式の期中平均株式数 ( 千株 )	11,045	11,045

( 注 ) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

( 重要な後発事象 )

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8 月 8 日

株式会社C & Gシステムズ  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小 淵 輝 生 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 西 元 浩 文 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社C & Gシステムズの平成25年1月1日から平成25年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年1月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社C & Gシステムズ及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。